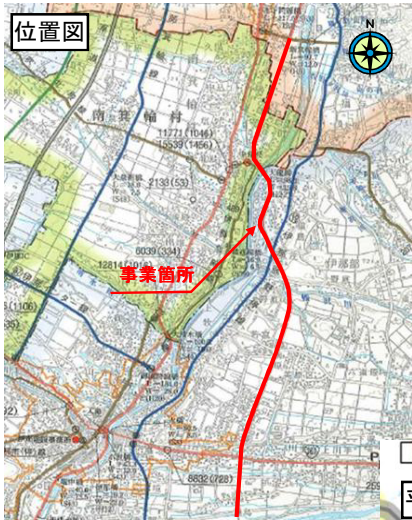


# 社会資本整備総合交付金(道路)事業 一般国道 153号 伊那市～南箕輪村～箕輪町 伊那バイパス



## 1 事業の目的

一般国道153号は、中京方面から南信地域の主要地を經由し、中信地域に至る重要な幹線道路です。

現道は、交通量が多く市街地およびその周辺地域で慢性的な渋滞が発生しており、円滑な交通に支障をきたしている状況です。

このため、バイパス道路を整備し、交通混雑の解消、円滑な走行性の確保を図ります。

## 2 事業の経過

平成19年まで L=1,470m(暫定2車線)  
 平成21年 L=160m(暫定2車線)  
 平成22年 L=1,100m(暫定2車線)  
 平成23年 L=670m(暫定2車線)  
 合計L=3,400mの供用開始

## 3 事業概要

施工延長 L=7,630m  
 歩道幅員 W=14.0(28.0)m  
 総事業費 215億円

## 整備促進への期待

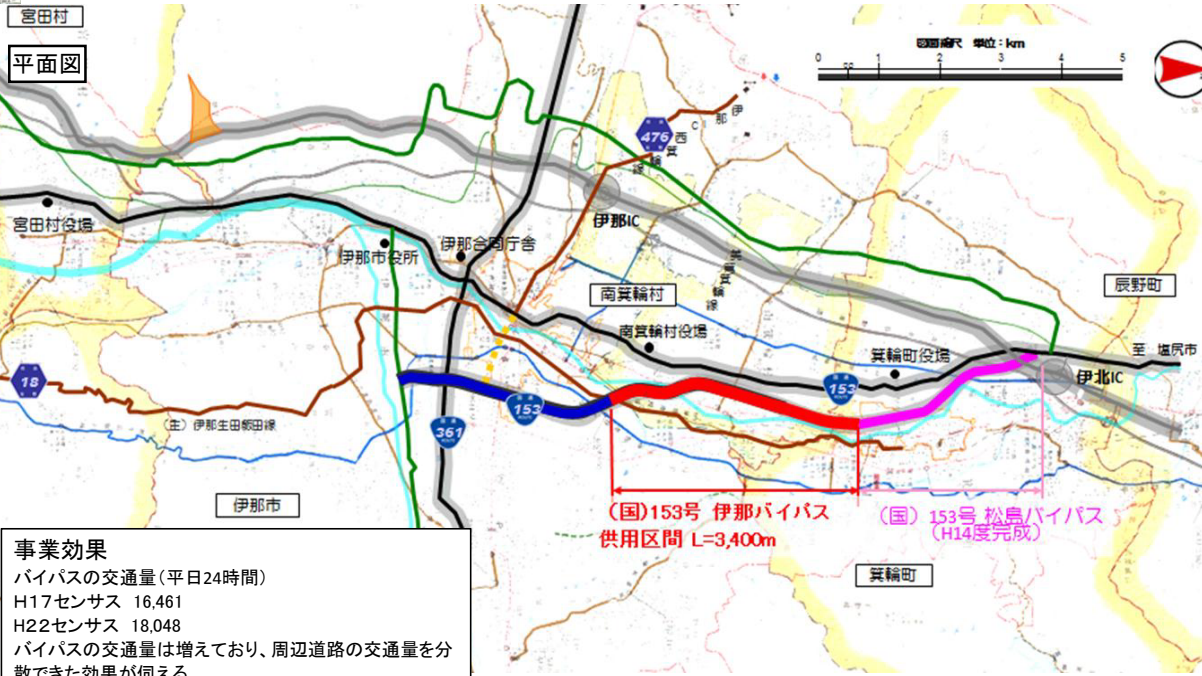
◎伊那市長  
 国道153号は、災害時には中央自動車道の代替路線として緊急輸送路の機能も有する、伊那谷地域の生命線であり、地域の発展に欠かせない重要な幹線道路です。

また、地域の生活に密着した重要な生活道路にもなっていますが、交通量が多く、伊那市街地周辺を含め渋滞が慢性化し、地域の流通および沿線住民の日常生活に大きく支障をきたしている中で、平成23年度に伊那市福島地籍の主要地方道伊那辰野停車場線まで暫定供用され、福島地区の開発が進み地域発展と交通の分散化により地域の皆さんや、道路利用者の利便性が向上したことは、誠に喜びに堪えません。

国道153号の整備により、リニア中央新幹線の開業のメリットが広く県内に波及し、伊那谷地域の一体化と地域開発を支援する重要な路線となります。

さらに、中央自動車道をはじめ国道19号、20号へ、さらに伊那木曾連絡道路への接続による、広域的な道路ネットワークを形成する大きな役割を担う幹線道路となります。

地域にとって「命の道」である本路線が、1日も早く全線開通できますよう、更なるご支援をお願い申し上げます。



**事業効果**  
 バイパスの交通量(平日24時間)  
 H17センサス 16,461  
 H22センサス 18,048  
 バイパスの交通量は増えており、周辺道路の交通量を分散できた効果が伺える。

